



角田 憲治 議員



◀QRコード
(動画配信)
YouTube

Kenji Kakuta

公立小中学校への空調機整備について

▶現在空調設備導入への準備を進めている

Q 公立小中学校の体育館・武道館(格技場)への空調機器導入を図るべきと考えるが。

A 近年の記録的な猛暑の中での学校生活を考え、さらには避難所機能という点から、改めて学校における屋内運動場への空調設備は必要だと認識している。文部科学省の補助金導入を前提とした整備は断熱材を入れるなどの補助対象要件をクリアしなければならず、また全国の学校との競合があるなど、実際に補助の採択になるまで手続の時間が必要である。導入までの時間が短縮できるリース等による整備を実施している自治体もあり、それぞれの優位性を見極め、実際の準備に向けて取り組んでいく。



氏家中学校第2屋内運動場

高齢化における農業への対応について

Q 集落営農または営農集団への対応が急務では。事務手続きは再任用職員等が補助する形が望ましいのでは。

A 新組織立ち上げのため、塩谷南那須農業振興事務所及び塩野谷農業協同組合と連携して支援に力を入れていきたい。

Q 多面的機能支払い交付金事業を積極的に取り入れるべきでは。

A 設立促進のために、新たに「多面的機能支払い交付金対象活動促進事業」を創設し、事務処理を行う土地改良区の支援を行う。



花塚市長2期目の今日までの運営について

Q 副市長を迎えての成果は。

A 県との連携、市町間のネットワークも十二分に発揮、庁内の組織運営や連携調整にも尽力し、職員からの信頼も厚い。

Q 組織の活性化は。

A 一人一人がやりがいを感じることを第一に考え、意見をくみ上げることに努めていく。進取主義、現場主義、チームワークを重視し、常に前向きに、問題解決を模索する姿勢を徹底し、組織の活性化を図っていく。

その他の質問

- 喜連川中学校通学路の新設整備について
- 人事制度の運用について



加藤 朋子 議員



Tomoko Kato

福祉拠点の整備について

▶地域福祉の向上は最重要課題の一つ

Q 増大する福祉ニーズに応じて、様々な福祉サービスを統合し且つ有効に機能させる、総合司令塔となる福祉拠点を整備すべきではないか。

A 福祉施設は大幅に増大し、拠点も地域に点在している。これまでの発想や考え方を換え、ニーズの複雑化、多様化に対応していくことが重要である。福祉拠点整備は、福祉の全体像や将来構想を見すえた中で協議検討をしていく。また、現在社会福祉協議会が維持管理をしている喜連川及び氏家福祉センターは老朽化が著しい。今後、大規模修繕工事や施設の複合化、集約化をファシリティマネジメント戦略会議において検討していく。



氏家福祉センター

Q 複合新施設完成まで、社会福祉協議会本部を喜連川高校跡地に移転しては。

A 北側校舎は行政文書保管場所であり、南側校舎は耐震工事が必要。また、改修工事、保管文書の受入れ先の確保と移動費用など多額の投資が必要となるため現状として難しい。

Q 喜連川公民館の設置根拠を変更して使用できないか。

A 公民館は社会教育施設であり、営利目的には利用できない。設置根拠の変更等には時間もかかり、公民館以外の利用は考えていない。

若者の政治参画について

Q 将来を担う若い世代が政治に無関心であるという事は大変憂慮すべき問題である。一方自治体の中には、若者が政治に関心を持ち、気軽に意見を言える環境を整えることによって、若者の政治参画に成功しているところもある。当市でもそういった環境を整えて、若者の政治参画を促すべきと考えが。

A 若い人の意見をもらい、いろんな形でまちづくりに参加してもらい、世界と繋がりながら本市のよさをつくっていったらもらえるよう、何かやってみたい。



さくら市子ども議会の様子



石原 孝明 議員



Takaaki Ishihara

上野地区農業集落排水処理施設について

▶今回の構想見直しを契機に一定の方向性を見出していく

Q 氏家水処理センターへ接続できないのか。また、集落排水処理施設の増設はできないか。

A 氏家水処理センターへの接続には、下水道管を大型管に布設替えるか、ダブルの複数管とするかといった既設の下水道本管更新に問題がある。終末処理場についても、流入量の増大に対応するため、6池目を新たに建設する等の問題がある。農業集落排水施設についても、現在の処理施設の長寿命化を図って更新を行うか、機能強化して増設を図るか、または農業集落排水を公共下水道へ接続するかなどについて、具体的で詳細な検討を行う。



さくら市上野水処理センター

上野地区にある市営住宅跡地の活用について

Q この土地を売却の方向と聞いていたが、この住宅跡地を避難場所と地域のいこいの場として生かせる公園整備を進めては。

A 本地区の土地利用の状況などを鑑み、地元行政区や地域の方々の意向も踏まえ、避難場所や公園整備の必要性を考慮し、それらの適正な配置と当該市営住宅跡地の適切な活用に努めていく。



上野地区市営住宅跡地

物価高騰による農業資材の値上がり対策について

Q 新型コロナの影響により消費が低迷し、米価は下落。また、ロシアによるウクライナ侵攻によって肥料、飼料、燃料などが高騰し続けているが市として肥料高騰に対し、支援する考えはあるのか。

A 令和3年産米に対し主食用米作付農家支援助成金給付事業を実施、今定例会には、農業用資材等高騰対策事業助成金交付のための補正予算を上程した。今般、国、県で、肥料価格高騰に対する事業が実施されることとなった。この国、県の事業の実施に合わせて、本市として対応を検討する。

一般質問ここが聞きたい

一般質問ここが聞きたい



笹沼 昭司 議員



Shoji Sasanuma

米飯給食の取組みについて

▶新給食センター稼働を見据え、米飯、地元産食材利用を進める

Q 文科省から米飯給食について、平成21年3月に、週4回の米飯教育の目標設定を促す通知が出されているが、現状は。

A 週5日の内、米飯が3回、パン食が2回を基本としているが、喜連川給食センターでは週によっては4回提供している。

Q 地元産食材の割合は。

A 現在、約28%であり、新給食センター稼働を見据え、地元産の食材利用を進める。



米飯給食

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種後の後遺症等について

Q ワクチン接種後の副反応、後遺症について市民の状況は。

A 接種した医療機関等が対応しており、市には報告されていない。県の調査では約1割の方が倦怠感、疲労感、頭痛が続いたとの結果があり、相談や受け入れ先の整備を検討していくとのこと。

マイナンバーカードの普及について

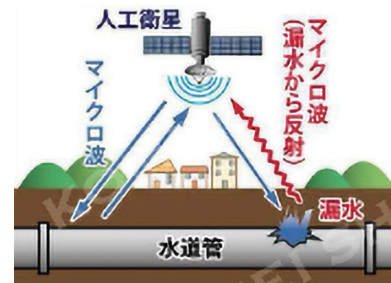
Q さくら市の交付状況は遅れているが、市が独自のポイントを付与して申請の促進を図ってみてはどうか。

A 9月末の状況を見て、市独自のマイナポイント付与やクーポン券配布等が可能かを検討していく。

AIによる漏水調査について

Q 衛星から地上に電磁波を照射して得られる画像データから、水道水特有の反射特性をAIで解析して漏水の可能性のある区域を特定し、調査の効率化が可能となるのでは。

A 水道事業の有収率は令和2年度が72.8%であり、県平均の81.5%を下回っており、AIを活用した漏水調査については、費用対効果や今後の事業の進捗の考察等を行い、検討を進める。



衛星画像を利用したAI漏水調査

その他の質問

●定年延長に向けた取組みについて



福田 克之 議員



Katsuyuki Fukuda

鉄道開業150年、蒲須坂駅開設100年について

▶来年、さくら市ミュージアムにて、蒲須坂駅テーマ展示を開催する

Q さくら市として、駅、鉄道の利便性や住みやすさをPRするチャンスでは。

A 記念すべき100周年。氏家駅開設110周年記念の際には、ミュージアムで記念誌を発刊したので、今回、第200回記念こども絵画展と併せて蒲須坂駅テーマ展示を開催する。児童生徒、その家族が来館するので、広く蒲須坂駅の歴史を知ってもらう機会になる。市としては、蒲須坂駅の歴史検証に務めながら、駅の存続と紹介を含め、駅周辺発展のためにも、次の100年に資するよう努力する。



JR蒲須坂駅

さくら市のスポーツ施設の長寿命化について



総合公園 野球場

Q 野球場など屋外施設の老朽化が著しい。長寿命化を図る必要は。

A 屋外スポーツ施設については、計画を策定していない。今後、将来の人口動勢やスポーツニーズを把握して、長寿命化、複合化、集約化などあり方について検討する。

Q 施設維持管理の人員配置については。

A 全庁的な合意形成を図り、職員の適性配置、指定管理者制度、民間委託、再任用職員の適材適所の配置についても対応したい。



鈴木 恒充 議員



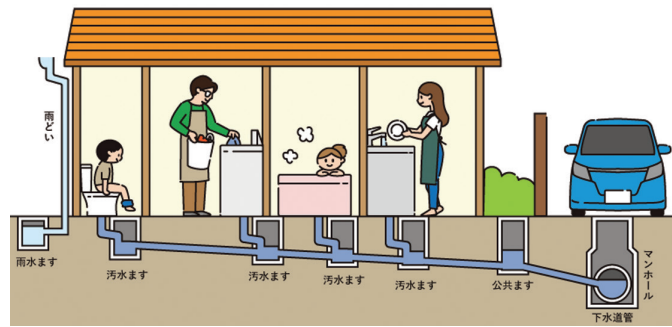
Tsunemitsu Suzuki

上野地区の定住・移住の促進について

▶熟田小学校の長寿命化事業にあたり、今後、人口増の促進に向け、上野地区の基盤整備を進めていく

Q さくら市の生活排水処理構想を見直す考えはあるか。

A 現在、国の方向性は個別方式に変わっており、本市においても、効率よく生活排水を処理できるよう、新たな生活排水処理構想の策定に努めていく。



Q 上野地区の農業集落排水を公共下水道に接続する場合に想定される課題は。

A 費用が最大の課題である。実際の施工を想定して、可能な範囲で最大限詳細に積算、算出し、事業費を把握していきたい。

Q 上野地区住宅誘導ゾーン促進に向けた取り組みについて問う。

A 上野地区は国道293号に隣接し、ハザードマップでも浸水被害の想定はないので、道路側溝や、排水路の整備を早期に着手できるように努める。



若見 孝信 議員



Takanobu Wakami

脱炭素の取り組みについて

▶新たな温泉活用、バイナリー発電を検討

Q さくら市として※カーボンニュートラルに向けた計画や宣言を行う考えはあるか。また、具体的な内容やタイムスケジュールは。

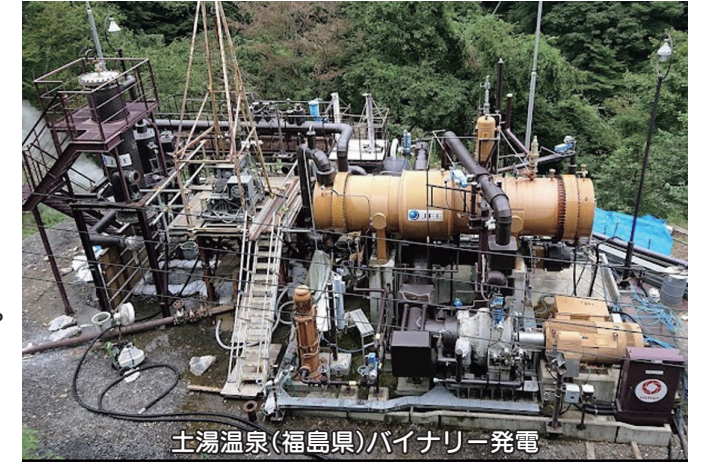
A 令和6年度以降を対象年とした市の第4次地球温暖化対策実行計画を、令和5年度中に策定していく。

Q 市の取り組みの具体例として、市のデマンド交通や公用車にEV(電気自動車)を導入し、併せて非常時の電源としても活用するといった脱炭素に留まらない市民にメリットのある取り組みが重要と考えるが。

A 市の公用車へのEV導入や多角的利用については検討していきたい。

Q 脱炭素において、温泉熱を利用した※バイナリー発電といったさくら市固有の資源の活用が重要。特に道の駅であれば、源泉の温度や湧出量を考えると導入の可能性は高い。バイナリー発電は固定買取価格制度の価格も高く、対外的なPRにもなり得る。前向きに検討すべきではないか。

A 積極的に取り組んで検討したい。



土湯温泉(福島県)バイナリー発電
【Googleマップより引用】

さくら市の農業について

Q 米価低迷、高齢化・後継者不足等、さくら市の農業を取り巻く状況は非常に厳しいものがあるが、今後のビジョンについてどう考えているか。市の農業者の置かれた状況は厳しいものがあるので、ぜひスピード感を持って対応を進めてもらいたい。

A 今後の市の農業の指針となるような計画が必要と考えており、早速検討したい。



さくら市農産物

※カーボンニュートラルとは
温室効果ガスの排出量を全体としてゼロを目指すこと。
※バイナリー発電とは
熱と蒸気でタービンを動かす発電方法。



櫻井 秀美 議員



Hidemi Sakurai

給食センターと、道の駅きつれがわ火災による専決処分について

▶一日も早く手続きを進めるべきと考えた

Q 給食センターの設計業務は、6月定例会に提出審議、委員会付託で十分進めることが可能であり、説明しないまま臨時議会提出、即決は議会軽視では。

A スケジュール上、入札回数が複数回以上あり、期間に猶予を持たせる必要があるため。

Q 道の駅きつれがわの火災による修繕工事の専決処分の報告は、HRC Sakura視察の帰りのバスの中。研修後臨時議会を開催して説明すべきでは。

A 災害時も同様であるが、様々な影響を考慮して一日も早く復旧し、供用開始しなければならぬと判断した。

Q 火災による責任は誰がどのようにとるのか。

A 本施設は市の所有であり責任は市長である私、また、指定管理者である株式会社の道の駅きつれがわ社長である私に責任が当然ある。一日も早く、より魅力ある施設によりみがえらせ、市並びに指定管理者の保険等を最大限活用して、市の負担を最小限に抑えることが私の責務である。



道の駅きつれがわ仮設店舗

Q 塩素イオンは腐食の進行が早いと言われているため、通常は腐食抑制応急措置をやるがその対応は行ったか。

A 行っていない。

Q 常任委員会が喜連川の商工会で開催され、市長は道の駅社長として出席した。私も、傍聴したが、ほとんど市長の立場で答弁していた。もう少しふん別つかないのか。

A 非常に難しい部分もあるが、指摘については真摯に受け止める。

益子陶芸家島田恭子氏の陶板の購入について

Q 島田恭子氏の陶板購入は最初教育委員会で審議し否決された案件と聞いている。その後購入したと聞いたが。

A シティプロモーションの一環として市の予算により購入した。

Q 本年度のシティプロモーション予算の細目を見ると該当がわからないが。

A 備品購入費の220万円として、予算計上している。

Q 一般会計なので当初予算に明記すべきでは。

A 予算審査特別委員会においては、主たる経費ではなかったため、説明を割愛した。



島田恭子氏の陶板



永井 孝叔 議員



Takayoshi Nagai

道路行政について

▶地方創生道整備推進交付金事業を有効に活用

Q 市民の要望が多い生活道路の舗装修繕に今後どう取り組んでいくのか。また、通学路等の点検結果で危険解消にどう取り組んでいるのか。

A 市道は総延長634kmあるが、車両の増加・大型化により経年劣化が発生し、路面状態が悪化している。さくら市舗装長寿命化修繕計画により、維持管理指数の数値を基に優先順位等を決定して交付金を活用し、修繕に取り組んでいる。通学路については、さくら市通学路安全対策協議会の中で、通学路の危険箇所を点検し解消に向けた取り組みを継続して実施している。



通学路点検の様子

学校施設の整備充実について

Q 近年学校での熱中症事故が全国で毎年5千件程度発生しているため、小中学校体育館に空調設備を早急に設置すべきでは。

A 近年夏の暑さが続き、全国的に屋内運動場、体育館を避難所として指定する市町村も多い。国は国土強靱化構想に基づき補助金や交付金で空調設置を支援する方針であり、本市も小中学校の屋内運動場へ空調設備を導入していく。

産業の振興について

Q 地域間競争を勝ち抜くため本市で産業団地の整備に着手すべきと考えるが。

A これまでに18社の企業誘致を実現した。令和2年4月に企業誘致推進本部を設置して推進を強化し、産業団地整備候補地に喜連川工業団地周辺地区、百目貫地区(鷺宿)、旧河戸小周辺地区の3箇所の適地調査が来年3月に完了。結果を踏まえ実現方策の検討を行い、県と相談を進めていく。



喜連川工業団地



岡村 浩雅 議員



Hiromasa Okamura

こどもを核としたまちづくりについて

▶令和6年度より第2子以降保育料免除を検討

Q 県はこども医療費助成事業の現物給付を、来年4月から小学校6年生までに拡大する方針を示した。そこで本市の負担減はどのくらいか。また浮いた財源の使い道は。

A 県の助成制度拡充により、現物給付が小学校6年生まで拡大される分で約1,200万円、中学校3年生までの上限引上げ分で約400万円、合計約1,600万円を見込んでいる。この財源の使途は、市内3か所で実施されているこども食堂をはじめとした子どもの居場所づくりに取り組んでいる団体への助成、障がい児保育を実施している保育施設への助成額の拡充など、子育て環境や幼児学校教育の充実を念頭に、新年度予算の中で検討する。

Q 来年度以降順次、小中学校の給食費無料化や0歳から2歳児の第2子以降保育料無料化、1歳児までのおむつ無料化など目玉となるような無償化政策を展開したらどうか。

A 第2子以降保育料免除を令和6年度開始を目標に検討を開始した。



労働者協同組合法施行における本市の対応について

Q どのように周知していくのか。

A 市民活動支援センター「さくらいふ」で担うことを想定している。今後は労働者協同組合法の講座を開催し、既に活動している団体等と連携しながら、制度の周知や情報提供を行っていく。

公共施設内男性用トイレへの配慮について

Q 公共施設内男性用トイレ個室にサニタリーボックス（汚物入れ）を置く取り組みが進んでいる。本市でも設置したらどうか。

A 積極的に推進していく。



一般質問後設置されたサニタリーボックス

その他の質問
●福祉タクシー事業について



高瀬 一徳 議員



Kazunori Takase

人にやさしいまちづくりについて

▶若者や高齢者の孤立問題が顕在化

Q 「縁側」が姿を消しつつあり、通院・通学・買い物の途中に座って休める場所「ベンチ」を増やすべきと考える。間伐材・建築廃材などの利用やボランティアからの協力をお願いしては。

A 暮らしを楽しむまちづくりの一環として推進し、関係各所、地域の皆様にも協力を仰ぎ、人にやさしいまちづくりに努めたい。間伐材などについてはSDGsに寄与することから情報収集、利活用について検討したい。また、ボランティアの方々に協力を要請したい。



市内設置ベンチ

動物愛護法・外来生物対策について

Q 社会的な背景から犬・猫など様々な生き物の販売数が伸びる一方で飼育放棄、自然に放つことによる野生化が問題となっているが、さくら市の対応は。

A 販売される犬・猫について令和4年6月1日より「マイクロチップの装着及び登録の義務化」がされた。栃木県動物愛護センターによると平成23年から10年間で殺処分率が犬96%猫92%と大幅に減少。さくら市としては避妊去勢手術費用の補助や犬猫の譲渡事業及び適切な飼育方法の啓発活動に力を入れ「殺処分ゼロ」に向けた取り組みを進める。

Q 登録義務のない他の生き物についてデジタルデータ管理システムを活用しては。

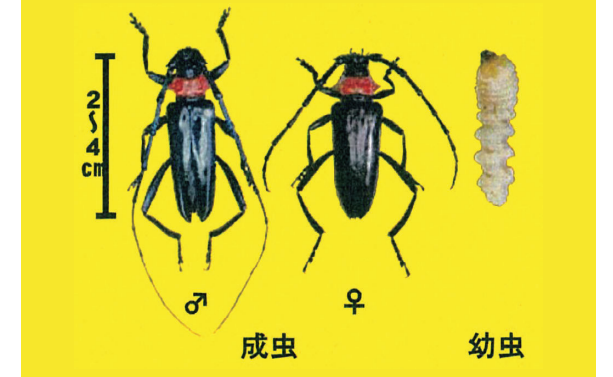
A 現状把握のため、ペットの種類・問題点などを調べる必要があると認識している。幅広く飼い主のニーズを把握することができる、有効な調査方法を検討する。

Q さくら市内で特定外来生物である「クビアカツヤカミキリ」が確認されたが状況は。

A 8月25日梅・桃・桜に寄生し枯死させる「クビアカツヤカミキリ」の被害を市内で確認。半径2キロ以内を発生地域として詳細に調査。被害状況によって「伐採・薬剤処理・ネット巻」などで対処する。今後も県の防除方針に基づき関係各課一体となり「防除対策・被害拡大防止」に努める。

成虫の特徴

- ・全体に**光沢のある黒色で、胸部(クビの部分)が赤い**
- ・成虫は6月から8月に現れる
- ・捕まえると刺激臭を発することがある
- ・体調は2~4cm



クビアカツヤカミキリ

その他の質問
●デジタル田園都市国家構想について

● 議会レポート

● 県市議会議長会議

- 7月6日
・ 渋井 康男 議長
・ 大河原千晶 副議長

● 県北五市議長会議

- 8月30日
・ 渋井 康男 議長
・ 大河原千晶 副議長

● 塩谷市町村議会議長会議

- 9月27日
・ 渋井 康男 議長

● 各種委員会等出席

- 民生委員推薦会
8月1日
・ 石岡 祐二 議員

● 監 査

- 例月現金出納検査
8月31日
9月26日
・ 石岡 祐二 議員
- 決算審査
7月11・19・20・21・25日
・ 石岡 祐二 議員
- 定期監査
9月28・29日
・ 石岡 祐二 議員

● 国際友好都市締結 2周年記念イベント

8月5日
アメリカ合衆国のランチョパ
ロスベルデス市と国際友好都市
を結んで2周年の記念式典を行
いました。



国際友好都市締結2周年記念イベント

● 視察等来訪

7月5日
東京都八丈町議会議員ほか8
名が、議会運営と行政のデジタ
ル化（タブレット導入等）につ
いて視察に訪れました。



8月2日
愛知県岡崎市議会議員6名
が、一斉野焼きと農業支援につ
いて視察に訪れました。



● 議会の動き

7月

- 4日 加須市議会正副議長就任あいさつ来訪
5日 東京都八丈町議会議員視察来訪
6日 栃木県市議会議長会議
7日 議会報告会検討委員会
議会広報委員会
11日 決算審査
13日 議員全員協議会
14日 議会広報委員会
19日 決算審査
20日 議会広報委員会
決算審査
21日 決算審査
22日 建設経済常任委員会
新型コロナウイルス感染症に係る要望書提出
25日 広島平和記念式典中学生派遣事業結団式
決算審査
27日 議長杯ゲートボール大会開会式
29日 議会新型コロナウイルス感染症対策会議
議会報告会検討委員会

8月

- 1日 民生委員推薦会
2日 愛知県岡崎市議会議員視察来訪
3日 議会報告会検討委員会
5日 議会報告会検討委員会
国際友好都市締結2周年記念イベント
6日 きつれがわ観光やなオープンお披露目会
9日 県土整備委員会
18日 議員全員協議会
議会運営委員会
27日 きつれがわサマーフェスティバル&花火大会2022

8月

- 30日 県北五市議長会議
31日 例月現金出納検査

9月

- 1日 議員全員協議会
議会運営委員会
第3回定例会開会
議会広報委員会
議会報告会検討委員会
- 2日 議会運営委員会
5日 議会運営委員会
議員全員協議会
第3回定例会一般質問
- 6日 議員全員協議会
第3回定例会一般質問
- 7日 第3回定例会一般質問
8日 第3回定例会決算審査特別委員会（総務）
9日 第3回定例会決算審査特別委員会（文教厚生）
12日 第3回定例会決算審査特別委員会（建設経済）
議会運営委員会
- 13日 第3回定例会総務常任委員会
14日 第3回定例会文教厚生常任委員会
15日 第3回定例会建設経済常任委員会
21日 議員全員協議会
議会運営委員会
第3回定例会開会
- 26日 例月現金出納検査
27日 塩谷市町村議会議長会議
28日 定期監査
29日 定期監査

どうなったんべ あの 質問



投票率向上の 取り組みについて

議員が行った一般質問は、市政にどの
ように反映されているのでしょうか。
これまでの質問の中から取り上げて、
その後の状況をお知らせします。

令和3年 第4回定例会
令和2年 第4回定例会
令和元年 第1回定例会

現状は…

さくら市では、投票区の面積や有権者数等を考慮に入れ、市内22箇所に当日投票所を設けています。更に、投票日当日に仕事やレジャーなどで投票に行けない方に対しては、告(公)示日の翌日から投票日の前日まで市役所本庁舎と喜連川支所の2箇所に期日前投票所を設け、投票を受け付けています。

投票時間については、期日前投票が午前8時30分から午後8時、当日については7月に行われた参院選から閉鎖時刻を1時間繰り上げ、午前7時から午後7時までに変更しました。

また、投票率の向上のため、以前は各種イベントやショッピングセンター等での啓発活動を実施していましたが、ここ数年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、啓発活動が実施できていない状況です。

今後は…

期日前投票所の増設や共通投票所の新設を求める声もありますが、実現するためにはネットワーク環境の整備、投票所の安定確保、投票の秘密保持、人員確保などの障壁があります。そのため、全国的には投票所の統廃合がかなりの速度で進んでいますが、本市としては、まずは当日投票の大原則に従い、自宅の近くで投票できるような環境を整えることが重要であると考え、投票所の適正な維持確保に努めていきます。

また、啓発活動に関してもコロナ禍が長引く中で、投票率の低い若者対策として様々な角度から選挙に関わってもらい、政治や選挙に関心を持ってもらえるよう、地元の高校に各種選挙に関する働きかけを実施していきます。





市民の声

ママトキ

う え だ ち さ
上田 千紗 (横町・氏家地区)

ママトキは産後ママと赤ちゃんのお教室です。ベビーマッサージで赤ちゃんとの絆を深め、産後エクササイズでは産後ママの体を整えていきます。

私がさくら市で出産をした時に、初めての育児でどう赤ちゃんのお世話をすればいいのかわからず不安でした。実家が遠い為、誰に相談すればよいかもわかりませんでした。また小さい赤ちゃんを連れて外出することが怖くてできないし、赤ちゃんはどこに行けばいいのかもわかりませんでした。

赤ちゃんを二人きりでずっと家にいて、泣いている赤ちゃんに、「こんな育児では間違っている」と、責められている気持ちになりました。

こんな気持ちなのにも関わらず、産後の体は体力もなく、つかれやすいし、常に寝不足の状態でした。誰かと話したい、自分の為の時間が欲しい、ストレスを発散したいと心も悲鳴をあげていました。

そして今、あの頃私が体験したことを、この地域の産後ママさんたちも感じているのではないかと考え、産後ママと赤ちゃんが笑顔になるためのママトキをスタートさせました。

ママトキはママの時間という意味で名付けました。このママである時間を大切に、地域との関わり合いを持ち、助け合いながら、さくら市のみなさんと未来が明るくなるように子育てを支援していきたいです。



《表紙写真》

NPO法人全国産後トータルケア協会
ママトキ

対象：生後2ヶ月から1歳

レッスン日：

喜連川(火) 9:30~10:45

11:15~12:30

氏家(木) 9:30~10:45

11:15~12:30

見学・体験随時受付中

問い合わせ：mamatoki2019@gmail.com

赤ちゃんと一緒にご参加いただけます

お知らせ

次回 12月定例会予定
12月1日(木)~12月20日(火)

◎正式な日程は、議会運営委員会にて決定いたします。

議会広報委員会



掲載写真は、撮影時のみマスクを外しております。

高瀬 一徳 福田 克之 石原 孝明
吉田 雄次 榎本 崇 岡村 浩雅
小堀 勇人 副委員長 加藤 朋子 委員長 大河原 千晶 角田 憲治

●議員年金について

平成23年6月1日をもって廃止されました。

●政務活動費について

さくら市議会は支給されておられません。

■8月1日発行 70号のお詫びと訂正

議会だより70号の7ページに誤字がありました。お詫びして訂正いたします。